



【エピソード】12月に開催した2回目のワークショップは、それぞれの得意技や趣味を持ち寄って集まりました。絵が好きという男性は、SLの鉛筆画、孫の肖像画を披露し、得意の川柳も発表してくれました。編み物の得意な女性は、この時期ピッタリの毛糸の作品、花作りが得意な女性は「食べられる花の栽培に挑戦し、みんなで試食してみよう」と意欲を見せました。今度、地元の絵や写真を集めて「財津堂」の絵ハガキを作ろうというアイデアも生まれたワークショップ。芸術に関心がある人、地元の景観に誇りを持つ人、印刷業の人、この集落が好きの人、みんなの力で「財津堂セレクション」の絵ハガキ、実現できたらいいですね。

《財津堂ワークショップのまとめ》 1回目/11月26日・2回目/12月18日

■助けられ上手になろう！生活しやすい環境づくり。

回覧・配布書類の届け物が大変。買い物が不便など暮らしの困りごと。
⇒足腰が弱い人は回覧は一番最後に。一回の集まりを有効に！

■個人の取り組みをみんなの活動へ。財津堂アクションプラン。

薬草など家庭でできる自然療法に興味のある高齢者が多い。
⇒ドクダミ、キハダ、マタタビ等の効能をみんなで調べて共有。
家庭菜園、食卓に新しいものを取り入れることが面白い。
⇒食べられる花栽培、黒ニンニク、柿の試食会など。
高齢者の趣味・興味を広げる集まりを定期的につくりたい。
⇒「川柳」「編み物」「絵画」「しめ縄」「梅漬け」「絵手紙」など

■地元の素晴らしい資源、自然、景観をみんなに届ける取り組み

財津堂の風景を写した作品（桜・飯豊公園等）、地元の人たちの作品（絵・写真等）を絵はがきに。

